横浜市立緑小学校　　平成２８年度　豊かな心の育成推進プラン

1　中期学校経営方針

（1）学校経営中期取組目標

学 校 経 営 中 期 取 組 目 標
○　「学び合い　みとめ合う」だれもが、自分が認められているという安心感のある学校・学級づくりを実現します。 ○　子どもたちが学ぶことの楽しさを実感し、主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを推進します。 ○　「ひと・まち・もの」とのふれあい、関わりを大切にし、お互いに支え合い、お互いのよさに気づく心の成長を図ります。 ○　学校の教職員みんなが学校運営を意識し、一緒に取り組んでいこうとする姿勢や気持ちを大切にした学校組織体制を作り上げます。 ○　小中一貫教育ブロックや家庭・地域・関係機関との交流・連携を深め、共に子どもたちを育てていくことができる開かれた学校づくりを進めていきます。

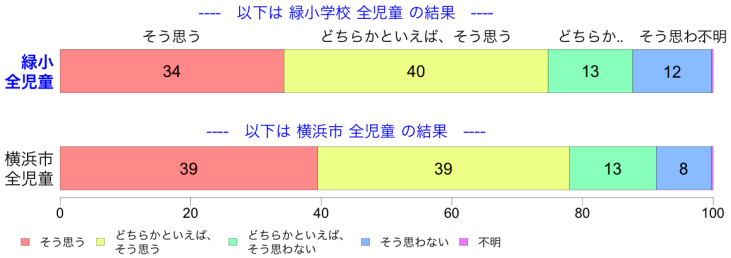
（2）「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取 組 目 標	具 体 的 取 組
豊かな心		道徳の時間を中心に、各教科などの時間やその他様々な教育活動の場において、自分のよさを発揮し、自分と同じように相手を尊重する心や態度を育てる。	①　年間に１回保護者に道徳の公開授業を行い、懇談会などで道徳教育について、共通理解を図る。 ②　「なかよしタイム」や「ペア集会」を中心に、異学年交流を意図的、計画的に行うことができるようにする。 ③　校内研修会や計画表（別葉）をもとにした授業実践を通して、効果的な指導に努める。
担当	道徳部		

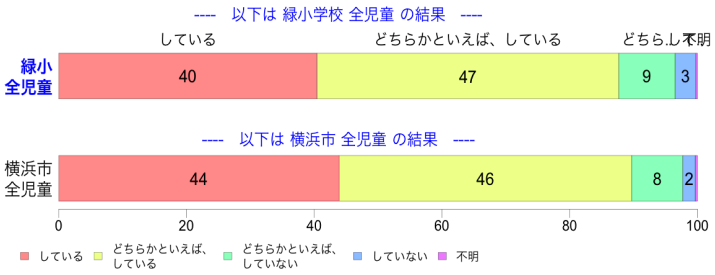
2　児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

横浜市生活意識調査によると、横浜市の平均と比べ、低い項目がある。

「自分にはよいところがあると思いますか。」では、２５％位の子どもが「そう思わない。どちらかといえば思わない。」と答えている。自分の立場や役割を意識して、自分の力を発揮できる場面を設定し、支援することが必要と考える。



また、「人の気持ちを考えて行動するようにしていますか。」の質問では、１２％位の子どもが「そう思わない。どちらかといえば思わない。」と答えている。自分の気持ちを抑制することの大切さに気付かせ、友達と互いに理解し、助け合っていくことを意識していくことが大切である。



３　「豊かな心の育成」に関する具体的取組

「道徳の時間」の充実

○道徳教育の要となる「道徳の時間」において、子どもたちにとって魅力的で、効果的な教材を通して、自己および人間としての生き方について、多様に感じ、考えを深め、互いに学び合っていこうとする道徳的実践力が身に付けられるようにする。

・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年１回以上公開する。懇談会などで道徳教育について、共通理解を図る。

・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との連携を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。

「体験活動」の充実

○望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする態度を育てる。

・学校生活をよりよくするための「係活動」や「当番活動」に自主的に取り組むことができるように、自分たちで計画・運営ができるようにする。

・「児童会活動」「クラブ活動」「たて割り活動」などの異学年交流を充実させ、いろいろな人とのかかわり合いながら、主体的、意欲的に行動できるようにする。

・「集団宿泊学習」を通して、活動のねらいを設定し、様々な「もの」「人」「自然」などを共通体験することにより、より充実した活動が行えるようにする。

「確かな人権感覚・意識」の育成

○子どもの社会的スキルアップをめざし、授業を通して、子どもの自尊感情の醸成、コミュニケーション能力、意思決定や問題解決などの向上が図られるとともに、だれもが安心して学校生活が送れるようにする。